



オケクラフト 40 周年記念事業

『事業紹介パネル展示 報告』 in 町民憲章推進大会

二月十九日に開催された置戸町民憲章推進大会の会場にて、今年誕生から四十周年を迎えるオケクラフトのこれまでの活動紹介と、これから繋がるパネル展示を実施しました。

会場に展示したパネルでは、

①オケクラフトの誕生の背景、その歴史に深く関わる秋岡・時松両氏との出会い。これからのオケクラフトに求められる意味。

②オケクラフト誕生当初から開発が進められた木製学校給食器への取り組み。

③オケクラフト三十周年から継続して進められる「すくすくギフト」。

以上の三点について紹介しました。

パネル展示の他、給食器とすくすくギフトについては実際の資料を展示し、オケクラフト、そしてその活動について改めて町民の皆さんに知っていただく機会となることを目標としました。また、この展示を通して、これからの四十周年に向けた取り組みに期待して頂ければと実施しました。

今後も不定期で四十周年記念事業に関する取り組みを「あれこれ」紙面でお伝えしていきます。

今月の一品

かくれた一品 おすすめの一品
毎日 オケクラフトとともにいる
私たちの一品をご紹介します！



商品名：丸スツール 大
樹種：エゾマツ
価格：9,900 円（税込）
サイズ：高さ 410mm × 座面直径 280mm

※エゾマツを使った器類は、この弱さを補うために樹脂含浸法という木固め処理をしています。

秋岡さんのひとこと

今月の一品は【木工房 zeph】、エゾマツの「丸スツール 大」です。おすすめのポイントは、何と言っても「エゾマツで作られていること」です。針葉樹であるエゾマツの持つ、美しく素直ではっきりとした木目、軽くて持ち運びに苦勞しない重さ。一般的に針葉樹は広葉樹に比べ、軟らかく軽い、だから弱い、と言われていきます。弱く傷つきやすい点は、デメリットとして捉えられがちですが、このスツールに関しては細かくついてしまう傷の一つひとつが思い出として残り、何とも言えない味となります。日本家屋の柱のように、傷が歴史を刻み、時間とともに愛着が湧いてくる。道具として、長く使えば使うほど愛着の湧く一品だと、強くお勧めいたします。



ショップスタッフ 辻

森林工芸館の
あれこれ

置戸町の HP から森林工芸館のページへ移動すると、これまでに発行した「森林工芸館のあれこれ」をご覧ください。

また上記の QP コードからも「森林工芸館のあれこれ」バックナンバーをご覧ください。

つまらない、つまらないと思いつながら作っているモノと、客があきらめた、あきらめたと行って仕方なしに買っていくモノとは、たぶん同じモノだろう。いわゆる使い捨てモノがそれ。使い捨て現象は、製品がお粗末なときにおこる。あきらめ買いの結果としておこる。



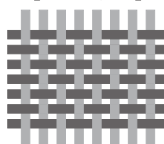
【手仕事の美しさ - 編組技法 -】



縄文時代が始まりと言われる編物の歴史は、刳物とともに最も古い工作技法であり、現在にも残る息の長い技法と言えます。使用される素材は籐や竹、樹皮や蔓、小枝や草などと幅広く、生活に密接した素材が扱われ、地域性や風土性が強くあらわれます。また古くから手仕事として伝えられた技術には様々な特徴があり、「ザル編み」や「網代編み」と呼ばれる日常生活の中でもよく目にする編み方から、一般的にはあまり目にする機会のないような編み方まで多くの種類があります。秋岡コレクションに保管される編物は、生活に根付いた資料が多いことから一般的に良く目にする編み方が多い傾向にあります。

【日常的に見られる編み方イラスト！】

【四つ目編み】



【かごめ編み】



【網代編み】



【ザル編み】

